

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後デイサービスひだまりa		令和8年 3月 31日				
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	6	4	・定員に対する必要スペースの基準は満たしているが、バギー置き場に場所を取られて狭くなってしまふ。活動室外に置くよう努めているが、中々改善が難しい。	・最近ではリフトも利用しているので、移動導線に注意しながら安全に過ごせるよう工夫が必要。 ・難しいと思うが、ベッドがもう1台あるといい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	(どちらともいえない 2) ・曜日やこどもたちの状態等によって、より多く配置するように努めている。	・トランス待ちの時間ももたない、こどもの状態・医ケアの内容によっては看護師が不足していると感じるとの意見があった。逆に急なキャンセルにより、職員の配置数が適切でなくなるとの意見もあった。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	4	・マットやカーテン等を使って、休息できるスペースを分かりやすくしている。	・時間、活動の構造化は不十分な部分がある。 ・トイレとエレベーターが狭い。 ・手洗い場の蛇口が使いづらい、伸びるタイプだといいい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	・厨房との間に内窓を設置し、防寒防暑対策を行った。	・夏場の湿気対策が、緊急の課題となっている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1		・2つの個室があるが、使用時間が重なってしまい順番で使うこともある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	(無回答 1) ・必要時、または月末のスタッフミーティングで行っている。	・振り返りまでできていないことが多い。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	(無回答 1) ・評価表以外にも、年2回の個別面談時に直接意向を伺い、改善できるところは改善するよう努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・月末のスタッフミーティングで行っている。また、スタッフ面談を年2回実施、面談以外でも、気軽に意見を言い合える雰囲気を作れるよう努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	(無回答 2)	・今後、行っていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・今年度は、救急救命講習、腰痛予防研修を実施することができた。また、柏市主催の研修会にも数名のスタッフが参加する機会を作ることができた。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	・年2回の個別面談時に伺い計画に反映、作成している。	

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・月末のスタッフミーティング後に、個別支援会議を行い、スタッフみなで評価、検討を行っている。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	・個別支援計画は各児童の個別ファイルに入れ、スタッフ全員が共有できるようにしている。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	(無回答 1) ・事業所独自のアセスメントシートを用いている。また、日々の状態、行動、表情等による観察を行い、記録をしている。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		・「家族支援」「移行支援」「地域連携」の個別化が難しい。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	・月末のスタッフミーティングでの意見も参考にして、ひだまり、ひだまりα合同で毎月行っている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・四季、各行事における活動の内容は固定されているが、その中でも変化させたり工夫している。児によって参加方法を変えたりもしている。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	・身体への取り組みや身辺自立等の個人の目標に合わせた個別活動と、週替わりの集団活動を組み合わせ作成、支援をしている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	3	・必ずではない。出勤時間が違ってても、お休みをしても子ども達の情報は共有できるよう、個人ファイルに記載している。	・再度、送迎前に集まれる人だけでも打ち合わせを行い、支援・活動内容の確認、職員の動向や健康状態等を共有し、連携した支援を行えるよう努める。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	・毎回には行っていないが、必要時には行うようにしている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	・複写式の連絡帳に記録をして定期的に振り返りを行っている。また、伝達事項、変更事項は個人ファイルに記入し共有している。	・個人ファイル同様、連絡帳の定期的な振り返りを毎月末にできるといい。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	・年2回個別面談時にモニタリングを行い、見直しを行っている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	(無回答 1)	・4つの基本活動とは①日常生活の充実と自立支援のための活動②多様な遊びや体験活動③地域交流の活動④こどもが主体的に参画できる活動である。定期的に周知していく。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	・言葉がけに対する反応、表情の変化に気付けるよう努めている。また、必要に応じて、サイン、絵カード等を用いて、意志の表出を促している。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	(無回答 1) ・児童発達支援管理責任者、また必要に応じて看護師も参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	(無回答 1) ・地域の保健以外は、必要に応じて連携して支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	・学校で開催される事業所連絡会に参加している。他にもメール、紙面でのやりとりや送迎時に直接連絡を取り合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	(無回答 2) ・法人内児童発達支援事業所と情報を共有している以外は、対象となる児童がいない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	(無回答 1) ・法人内では行っているが、それ以外は機会がなかった。必要に応じて情報提供を行ったり、見学も受け入れは可能である。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	(無回答 2) ・機会があれば、積極的に研修を受けたり助言を求めている。	・案内はあるが参加できないことが多いとの意見に対して、改善策を講じる。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	3	・今年度も中中原中学校オーケストラ部との交流の機会を持つことができた。公園やカフェでは積極的に関わりを持つようにしている。	・児童クラブや児童館との交流はない。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1	(無回答 1) ・柏市放課後等デイサービス連絡会と松戸市重症児者通所支援連絡会に毎回参加している。今年度から、子ども部会にも参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・毎日のお迎え時に当日の様子や体調等を伝え、またご家庭の様子を伺うことで共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	(無回答 1) ・今年度は「高校卒業後の進路・18歳を迎えるにあたっての準備」についての研修会を開催した。	・定例になっている、卒業後に向けた研修会以外にも、何かできればいいと考えている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	・新規契約時、その後は必要に応じて適宜行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	・面談や毎日のお迎え時に、保護者の意向を伺う機会を設けている。また、保護者の意向と子どもの意思が異なる場合は、どちらにも配慮するよう努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0		
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	・面談時以外にも、お迎え時に積極的にお話を伺い、ご家族への支援、助言ができるよう努めている。		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	(無回答 1) 保護者会は年に1回、子ども達の活動を体験していただくなど工夫をして開催している。また、お迎え時にはごきょうだいも一緒に来ていただける雰囲気と環境作りに努めている。	・きょうだい同士で交流する機会 は設けることはできていない。い ずれワークショップ等を開催した いと考えている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・苦情には迅速に対応している。 苦情にまで至らない些細な気付き や要望を言いやすい雰囲気作り にも努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・毎月、おたよりの配布とホーム ページ上のブログで活動の様子 を発信している。今年度より、Band に活動の写真を掲載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		(無回答 1) ・法人として年に一度、地域交流 のための笑福祭を開催している。 事業所では、夏・冬休みに中原中 学校オーケストラ部に来ていただ き演奏会を開催した。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	・マニュアルは策定している。感 染症や緊急時の研修会のみ実施。	・防犯マニュアルは未策定。不審 者に対する研修会の必要性の声は 上がっているが実施できていな い。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	・毎年、内容を少し変えて実施し ている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0	・服薬やてんかん発作等は随時確 認している。	・服薬の変更を確認する機会が定 まっていないため、保護者からの 自己申告に頼っている。定期的に 確認する機会を設ける。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2	・食物アレルギーの有無について は保護者から聞き取っている。緊 急時対応が必要な場合は医師に指 示書を依頼しているが、現在は該 当する子どもはいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	・昨年度から義務化されたこと により、実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	(無回答 1) ・ホームページ上 も掲載している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・事業所内ヒヤリハットは早急に 共有している。また法人内の事例 についてもスタッフミーティング 等で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	・法人全体研修の際には、意見交 換や事例の検討なども行い、支援 を振り返る機会を設けている。	・講師を招いての研修もあるとい い。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0		